令和６年度　「地域・高校と連携した部活動・地域クラブ活動」実施要領

2024.4.10

１　目　的

(1) 中学生が地域や高校と連携して提供する環境の中で、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会と場所を確保するとともに、活動を持続的に支えてく仕組みを構築する。

(2) 学校、行政、地域が一体となって取り組む活動の志向、趣旨、目的は、主に親睦、交流、普及を図ることとする。

２ 実施期間

令和６年４月から令和７年３月まで　　＊年度毎に更新する。

３ 協力校及び団体（種目/分野）

(1) ハンドボール…連携校　佐賀農業高校

(2) 書道、放送、朗読…連携校　白石高校

(3) 文化部（科学分野、郷土史研究など）…地域指導者（退職校長会など）

(4) バドミントン…「ほっと有明」（バドミントン）

(5) 弓道…有明弓道場「徹真会」

(6) 柔道…白石少年柔道

(7) ダンス…Diva kids dance（江北町 B&G 海洋センター）

(8) その他…空手、少林寺拳法など

４ 活動規定及び安全管理等について

(1) 希望生徒は「３　協力校及び団体（種目/分野)」の団体指導者の指導、支援に従って活動する。

(2) 希望生徒は、保護者の責任のもと活動する。(学校間の移動についても同様とする。)

(3) 諸事案の発生に関する責任の所在は、実施主体の白石町教育委員会であり、新しい学校づくり課が対応する。

(4) 「実施主体(町教委)」と「事業主体(協力校及び団体)」が連携・協力し活動する。
＊新しい学校づくり課推進係 [redacted]

(5) 大会参加、コンクールなどへの参加希望がある場合は、「実施主体(町教委)」と「事業主体(協力校及び団体)」、生徒及び保護者で、別途協議をする。

５　対象生徒

○白石町立白石中学校の全学年生徒

６　指導者

(1) 教職員（高校指導者）

(2) 協力校及び団体（種目/分野）の指導者

７　手続き　　※対象活動は「３　(1)(2)(3)」の協力校及び団体

○登録制　①「地域・高校と連携した部活動・地域クラブ活動　希望届」の提出
②「新しい学づくり課推進係」で把握し、中学校へ認可報告

８　保険加入

○「スポーツ安全保険」（スポーツ安全協会）の加入を奨励する。　１人 800 円／年

○移動及び活動中の事故については、「スポーツ振興センター」の災害共済給付も適応。

９　その他

○ 緊急時対応…急な活動中止（天候不良や悪天候、臨時休校、緊急対応一斉下校）の場合「３　協力校及び団体（種目/分野）」別に協議を行い、確認する

10　その他

○ 「部活動のきまり」や「学校のきまり」などを、協力校及び団体（種目/分野」の団体指導者や顧問、地域指導者の指示に従って活動することを指導する。保護者への協力依頼をする。

高校・地域と連携した部活動

新白石中学生の生徒を対象に、高校・地域と連携して中学生の「やりたい」「やってみたい」活動の場を広げ、継続してスポーツ・芸術活動に親しむ機会を確保する。

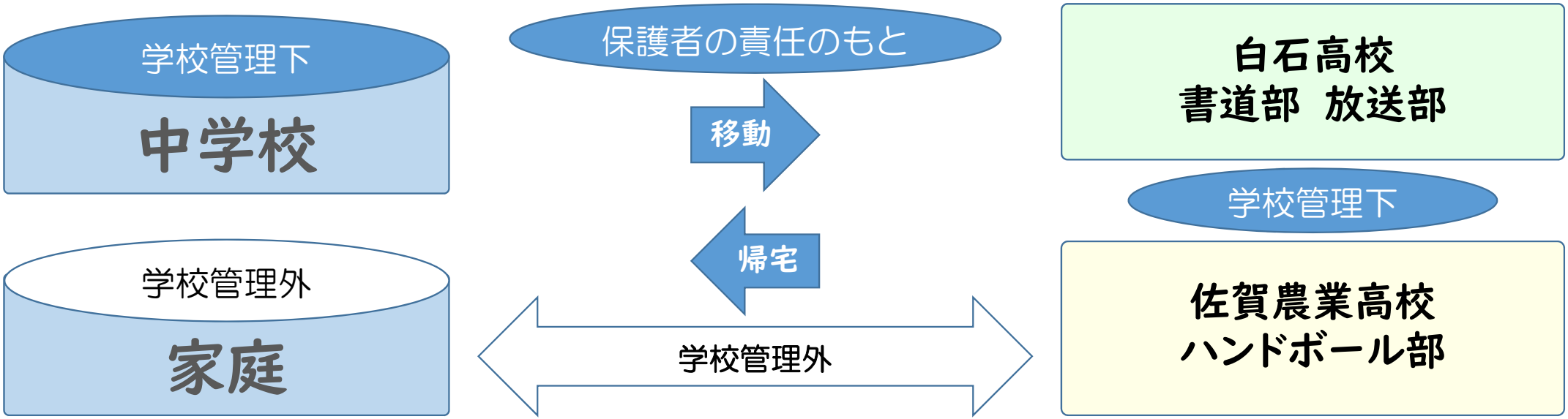
1　中学生の希望に応じ、高校側と協議の上、活動計画を立案
　（活動場所、時間、頻度、回数）
2　主な会場は高校の施設を利用
3　指導者…高校の顧問の先生、または高校生
4　種目及び分野
　佐賀農業高校…ハンドボール
　白石高校…… 書道、放送
5　その他　配慮事項

【連絡調整担当】
白石中学校　　電話　84−2411
　　主幹教諭　□□□□
　　教頭　　□□□□
※ 主に日程調整、急な予定変更などの対応

新しい学校づくり課　電話　84−7128
　　指導主事　□□□□
※　主に活動内容、活動計画に関する内容

〇白石町教育委員会が実施主体として取り組む活動
〇基本的に保護者の責任のもと、行う活動であること
〇高校の指導者が「個人的な責任」を負うことがないよう配慮

〇中学校から高校への移動中及び高校での活動中は、家庭の責任の下、参加する。
〇中学生の活動に関する保険は、「部活動」の位置づけであり、「日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度」で対応する。
〇ハンドボールについては、スポーツ安全協会への加入を奨励する。 ＊OBを中心とした練習が想定される



高校と連携した部活動に関する協定書

白石町教育委員会と佐賀県立白石高等学校（以下「白石高校」という。）は、高校と連携した部活動の実施にあたって、双方の合意の上、下記の計画に従って実施する。

記

1　指導体制

学校名 教育委員会	実施 内容	顧問氏名 連絡担当者名	部員数	活動 (期間・曜日・時間)	活動場所
白石高校	書道 放送	書道部顧問 [redacted]	書道１名 放送１名	(期間) 令和6年6月1日～ 令和7年3月31日 (曜日) 月曜日 (時間) 16:00～18:00 ＊変更有	書道部 白石高校 書道教室 放送部 白石高校 多目的室
		放送部顧問 教諭 [redacted] 教諭 [redacted]			
白石町教育委員会 対象校：白石中学校		新しい学校づくり課 指導主事 [redacted]	書道３名 放送１名		
		主幹教諭 [redacted]			

（１）双方の担当者は、技術指導や生徒支援について十分協議するとともに、それぞれの生徒に対して、連携した部活動の実施上の留意事項を十分指導する。
（２）指導に当たる白石高校の指導者は、白石中学校の生徒を指導する場合においても、白石高校の生徒に対する場合と同様の安全配慮を行うものとする。
（３）中学生が「独立行政法人日本スポーツ振興センター法」に基づく災害給付手続を行う場合は、中学生が在籍する白石中学校の校長が処理する。

2　連絡体制等

（１）指導を白石高校の指導者に委ねる場合、白石町教育委員会及び白石中学校の連絡担当者は、中学生の健康状態等指導上必要な情報をあらかじめ、白石高校の指導者に連絡する。
（２）白石町教育委員会及び白石中学校の連絡担当者は、高校と連携した部活動当日の活動人数や生徒の活動状況や実施状況について、高校の指導者と綿密に確認する。

3　移動経路及び移動方法

（１）高校と連携した部活動に参加する生徒は、保護者の責任のもと、所定の経路を所定の方法で移動する。
（２）活動終了後、高校と連携した部活動に参加した生徒は、保護者の責任のもと、所定の経路を所定の方法で帰路につく。

4　その他

(1) 本協定の内容を変更する必要が生じた場合は、変更点を双方で確認の上、速やかに変更する。
（２）この協定に定めのない事項については、その都度、双方で協議する。
（３）この協定の有効期間は、この協定締結の日からその日の属する年度の末日までとする。

この協定の締結を証するため、白石町教育委員会と白石高校は協定書を２通作成し、双方記名押印の上、各自その１通を保有する。

令和６年　７月１２日

白石町教育委員会　　教育長　　印

佐賀県立白石高等学校　校　長　　印

高校と連携した部活動に関する協定書

白石町教育委員会と佐賀県立佐賀農業高等学校（以下「佐賀農業高校」という。）は、高校と連携した部活動の実施にあたって、双方の合意の上、下記の計画に従って実施する。

記

1　指導体制

<table>
<tr><th>学校名
教育委員会</th><th>実施
種目</th><th>顧問氏名
連絡担当者名</th><th>部員
数</th><th>活動
（期間・曜日・時間）</th><th>活動場所</th></tr>
<tr><td>佐賀農業高校</td><td rowspan="3">ハンド
ボール</td><td>ハンドボール部顧問
教諭 [redacted]
講師</td><td>女子
８名</td><td rowspan="3">（期間）
令和6年6月1日～
令和7年3月31日
（曜日）水、日曜日
（時間）
（水）16:30～18:00
（日）午前か午後
３時間程度
＊変更有</td><td rowspan="3">佐賀農業高校
体育館
及び
ハンドボールコート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">白石町
教育委員会
対象校
白石中学校</td><td>新しい学校づくり課
指導主事 [redacted]</td><td rowspan="2">女子
３名</td></tr>
<tr><td>主幹教諭 [redacted]</td></tr>
</table>

（1）双方の担当者は、技術指導や生徒支援について十分協議するとともに、それぞれの生徒に対して、連携した部活動の実施上の留意事項を十分指導する。

（2）指導に当たる佐賀農業高校の指導者は、白石中学校の生徒を指導する場合においても、佐賀農業高校の生徒に対する場合と同様の安全配慮を行うものとする。

（3）中学生が「独立行政法人日本スポーツ振興センター法」に基づく災害給付手続を行う場合は、中学生が在籍する白石中学校の校長が処理する。

2　連絡体制等

（1）指導を佐賀農業高校の指導者に委ねる場合、白石町教育委員会及び白石中学校の連絡担当者は、中学生の健康状態等指導上必要な情報をあらかじめ、佐賀農業高校の指導者に連絡する。

（2）白石町教育委員会及び白石中学校の連絡担当者は、高校と連携した部活動当日の活動人数や生徒の活動状況や実施状況について、高校の指導者と綿密に確認する。

3　移動経路及び移動方法

（1）高校と連携した部活動に参加する生徒は、保護者の責任のもと、所定の経路を所定の方法で移動する。

（2）活動終了後、高校と連携した部活動に参加した生徒は、保護者の責任のもと、所定の経路を所定の方法で帰路につく。

4　その他

(1) 本協定の内容を変更する必要が生じた場合は、変更点を双方で確認の上、速やかに変更する。

（2）この協定に定めのない事項については、その都度、双方で協議する。

（3）この協定の有効期間は、この協定締結の日からその日の属する年度の末日までとする。

この協定の締結を証するため、白石町教育委員会と佐賀農業高校は協定書を２通作成し、双方記名押印の上、各自その１通を保有する。

令和６年　７月１２日

白石町教育委員会　　教育長　　印

佐賀県立佐賀農業高等学校　校　長　　印